

日付	/	/	/
得点	/3	/3	/3

1 番

問題 次のAとBは大学教育についての2つの意見である。AとBの両方を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

A

大学教育は職業教育にもっと力を入れるべきである。学生に早くから自分の仕事に対する適性や考え方を見極めさせ、自分にあった職業を選ぶ能力を身につけさせることが必要だ。不況が続く中、企業は新入社員を企業内で研修し育成する余力がなくなってきた。したがって、学生に期待されるものは学術研究で得た学識よりも、即戦力となる実践的な能力や技術である。それゆえ、社会ですぐに通用する能力を養うためのカリキュラムを作成することが大学に求められている。企業で活躍するエキスパートを講師として招くなどの試みもするべきだろう。今後の大学には、将来を担う若者を企業と共同して育てていく役割があると私は考える。

B

大学教育はあくまで学術研究に主眼をおくべきである。学術研究が社会に出てすぐに役立つとは限らないが、長い目で見れば、将来の社会を担う若者の育成につながるはずだ。実践的な即戦力をつける役割は専門学校に任せればよいと思う。近年、企業の採用活動が早期化するとともに、大学生の就職活動も早期化し、これが大学教育に弊害をもたらしている。3年から就職活動のために授業を欠席する学生が増えている事実、また、早期に就職が決まった学生の学習意欲の低下などが問題になっている。大学は就職の準備をする場ではない。大学生の学力の低下も指摘される今、大学教育がなすべきことは、世界に通用する水準の学識を若者たちに与えることであり、それを阻害するような状況があれば、企業とも連携しながらそれを改善していくべきだろう。

問1 AとBのどちらにも触れられていることはどれか。

- 1 就職活動が早まったことの問題点
- 2 大学生の学力の低下と学習意欲の低下
- 3 大学で職業教育をする必要の有無
- 4 大学で行う研究と企業で受ける研修との関連性

問2 就職活動の早期化が学生にどんな影響を与えていると言っているか。

- 1 専門的な技術を身につけることができないこと
- 2 仕事に対する自分の適性を見極める力が育たないこと
- 3 即戦力を備えた学生が育たないこと
- 4 就職が決まった後は学習する意欲が落ちてしまうこと

問3 社会に出てすぐに通用する即戦力を大学でつけることについて、Aの筆者とBの筆者はどのような立場をとっているか。

- 1 Aは批判的だが、Bは積極的な立場をとっている。
- 2 Aは積極的な立場をとっているが、Bは批判的である。
- 3 Aは明確にしていないが、Bは積極的な立場をとっている。
- 4 Aは積極的な立場をとっているが、Bは明確にしていない。

統理解

第1回

1番

問1 正解3

問2 正解4

問3 正解2

要点整理

「大学教育の役割」についての意見

Aの意見

- ①大学では、社会に出てすぐに通用する実践的な能力を育てるべきだ。
②早くから職業を選ぶ能力をつけさせることが必要だ。

Bの意見

- ①大学では、実践的な能力を身につけるよりも、学術研究を第一にするべきだ。
②大学で職業教育をする必要はない。早くから就職活動をするのは、よくない。

ポイント

<問1のカギ>

A 大学教育は職業教育にもっと力を入れるべきである。

=職業教育をする必要がある。

B 大学は就職の準備をする場ではない。

=職業教育をする必要がない。

<問2のカギ>

B 早期に就職が決まった学生の学習意欲の低下などが問題になっている。

<問3のカギ>

A 学生に期待されるものは……即戦力となる実践的な能力や技術である。

B 実践的な即戦力をつける役割は専門学校に任せればよい
=大学では即戦力をつける必要はない。

第2回

2番

問1 正解2

問2 正解3

問3 正解1

要点整理

「子供に携帯電話を持たせること」についての親の意見

Aの意見

- ①携帯電話を持たせていると親の不安感は少ない。
②子供を危険から守る方法は携帯電話のほかにはない。
③マイナス面もあるけれど、しかたなく持たせている。

Bの意見

- ①携帯電話を持たせていれば必ず子供を危険から守れるという期待はできない。
②子供が携帯電話にばかり気を取られて、勉強にも集中できない。
③携帯電話を禁止しようかと考えている。

ポイント

<問1のカギ>

A 携帯電話を持っていれば安全が保障されるというわけで

はありません。でも、持っていないよりは不安感が少ないのではないかと考えてのことです。

B 帰りが遅くなる時や緊急の連絡にはこれがあれば安心だと考えてのことでしょう。確かに一応の安心感はあるんですが、

<問2のカギ>

A 携帯電話を持っていれば安全が保障されるというわけでは

ありません。
=携帯電話を持っていれば絶対に安全ということではない。

B 確かに一応の安心感はあるんですが、いざというときにどれほどの力を発揮するでしょうか。

=重大な事が起きたときに、どれぐらい役に立つだろうか。あまり期待はできない。

<問3のカギ>

A 持っていないよりは不安感が少ないのではないかと考えてのことです。

:筆者は「持っている」と安心だから、持っているほうがいい」とはっきり肯定しているのではない。「持っている場合と持っていない場合を比べてみると、持っている場合は持っていない場合より、心配が少ない」と言っている。(=消極的な肯定)

B 娘から携帯電話を取り上げてしまおうかとも思うこのごろです。

=娘に携帯電話を使うことを禁止しようかと、今考えている。

第3回

3番

問1 正解1

問2 正解4

問3 正解2

要点整理

「お年寄りに席を譲ること」についての学生の意見

Aの意見

- ①若者が席を譲らないことの裏には、相手に失礼になってはいけないと思う気持ちがある。しかし、これは本当の理由ではなく、「言い訳」かもしれない。
②若者が席を譲らない本当の理由は、「相手に怒られると、いやだから」ということではないか。

Bの意見

- ①若者が席を譲らないのは、礼儀や道徳心がないからではなく、他者との関わりを避ける傾向があるからではないか。
②席を譲ろうとして断られるとわずらわしいから、譲らないほうがいいのかと考える。それは、他者と関わりたくないということだ。
③断られることを恐れなくて、勇気をもって席を譲るべきである。

ポイント

<問1のカギ>

A 親切にしたつもりが相手に迷惑がられることを恐れていたのかもしれない。

:「相手に迷惑がられること」=席を譲られた相手が(迷惑に思って)断ること。

B (断られて)わずらわしい思いをしたくないと思うあまり